

# 社会基盤情報標準化委員会における 2014年度の実施活動について

**第16回 建設情報研究所研究発表会**  
**平成26年11月13日**

研究開発部 主任研究員 児玉 直樹

# 目次

1. これまでの標準化委員会の活動経緯
2. 2013年度以降の活動方針
3. 2014年度 小委員会活動について
4. 今後の活動について

# 1. これまでの標準化委員会の活動経緯

## ◆CALS/ECに係る歩み(国土交通省)

- 1996年4月 「建設CALS整備基本構想」が策定
- 1997年度 「建設CALS/ECアクションプログラム」が策定
- 2001年度 「国土交通省CALS/ECアクションプログラム」が策定
- 2006年3月 「国土交通省アクションプログラム2005」が策定
- 2009年3月 「国土交通省アクションプログラム2008」が策定

## ◆社会基盤情報標準化委員会の歩み

- 平成12年 「建設情報に係る標準化ビジョン」策定
- 平成12年 「建設情報標準化委員会(旧名称)」設置
- 平成13年7月～平成16年6月 第一次 建設情報標準化 推進計画
- 平成16年7月～平成19年6月 第二次建設情報標準化三箇年推進計画
- 平成19年7月～平成22年6月 第三次建設情報標準化三箇年推進計画
- 平成22年7月～平成25年6月 社会基盤情報標準化推進計画2010-2012

## □ 標準化委員会における基本活動方針

### 建設情報に係る標準化ビジョン

建設に関する情報を最も効率よく活用するために、広く関係者を結集し建設情報に係る標準化を強力に推進することによって、21世紀初頭に建設分野において、

- ①円滑な電子データ流通基盤の構築
- ②統合的な電子データ利用環境の創出

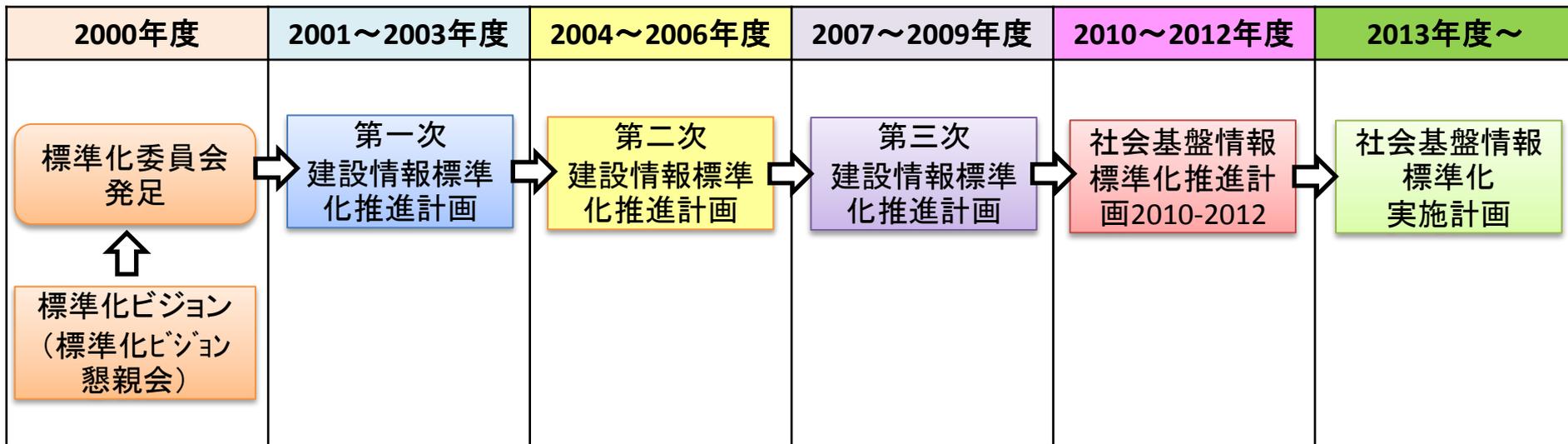
を実現し、もって建設分野全体の生産性向上を図る。

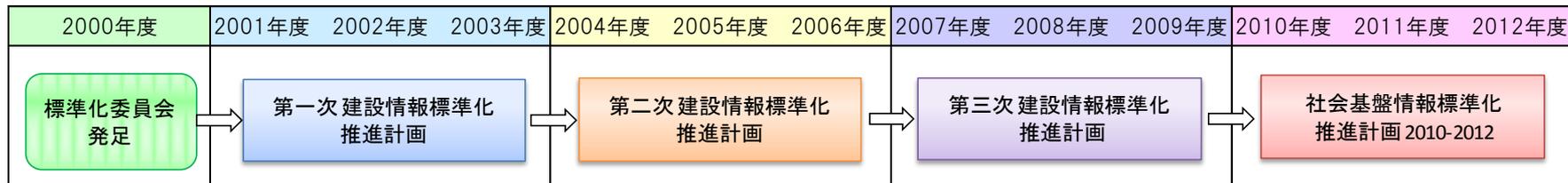


#### (適用範囲)

本ビジョンでは、建設分野全体として最適な情報化を進めるために必要な共通部分の標準化活動を対象とする。取り組みに際しては、既存の標準を尊重し、かつこれらの標準の有効活用に資するように配慮しつつ、関係する機関や業界団体と連携を図り、必要な調整を行うこととする。

# 標準化委員会における推進計画の経過状況





## 第一次建設情報標準化推進計画

実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>位置情報をキーとした建設情報をファイル単位で検索可能とするための標準整備</li> <li>2次元CADデータ、電子地図のCADへの取り込み等を可能とするための標準整備</li> </ul>
検討成果	建設事業における成果品を規定する電子納品要領・基準類や、CADデータの交換標準フォーマット(SXF)などの検討・作成を支援

## 第二次建設情報標準化推進計画

実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業フェーズや事業分野を越えて情報を活用していくための標準整備</li> <li>オブジェクトレベルでのデータ交換を実現するための基盤整備</li> </ul>
検討成果	各種電子納品要領における改訂の検討、電子データの有効利用の方策及び情報共有のあるべき姿の検討、標準インタフェース仕様及び地名辞書の整備・運用ルールの検討、拡張DMからSXFへの変換仕様及びCADとGIS間のデータ連携の考え方を手引きの作成、SXF Ver3.0の仕様等の改訂、属性セットガイドラインの作成、JCCS Ver2.0の策定、発注機関コードの作成、オブジェクトデータ交換の検討課題の整理

## 第三次建設情報標準化推進計画

実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルの各段階や事業分野、組織間を連携して、情報共有していくための標準整備</li> <li>意味内容まで踏み込んだデータ交換を実現するための基盤整備</li> </ul>
検討成果	種電子納品要領における改訂の検討、道路横断形状データ交換標準(素案)、SXF表示機能及び確認機能要件書(案)、「建設分野におけるXML記述仕様の考え方(案)」の作成、レジストリの機能・コンテンツ検討及びJACIC/LCDMLレジストリへの反映、「図面位置確認システム」のプロトタイプ構築、電子納品データの通行性検証

## 社会基盤情報標準化推進計画 2010-2012

実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>利活用の方法を考慮した柔軟な標準仕様の提案</li> <li>事業に派生して発生する蓄積情報(ノウハウ、点検履歴など)の活用方法の検討</li> <li>アプリケーションへの依存が小さい交換標準の整備、分散管理されたデータの多様な検索・入手・活用方法の検討</li> </ul>
検討成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>SXF共通ライブラリVer.3.20の配布</li> <li>数値地形図データ-SXF作成仕様(案)／2011年12月</li> <li>SXFデータ作成要領／2012年6月</li> <li>電子納品のモデル案と考え方／2013年8月</li> <li>CADデータ利活用ガイドブック／2013年8月</li> <li>XML記述に関するチェックリスト／2013年8月</li> </ul>

## 2. 2013年度からの実施方針

## ■2013年度以降の社会基盤情報標準化委員会の活動方針

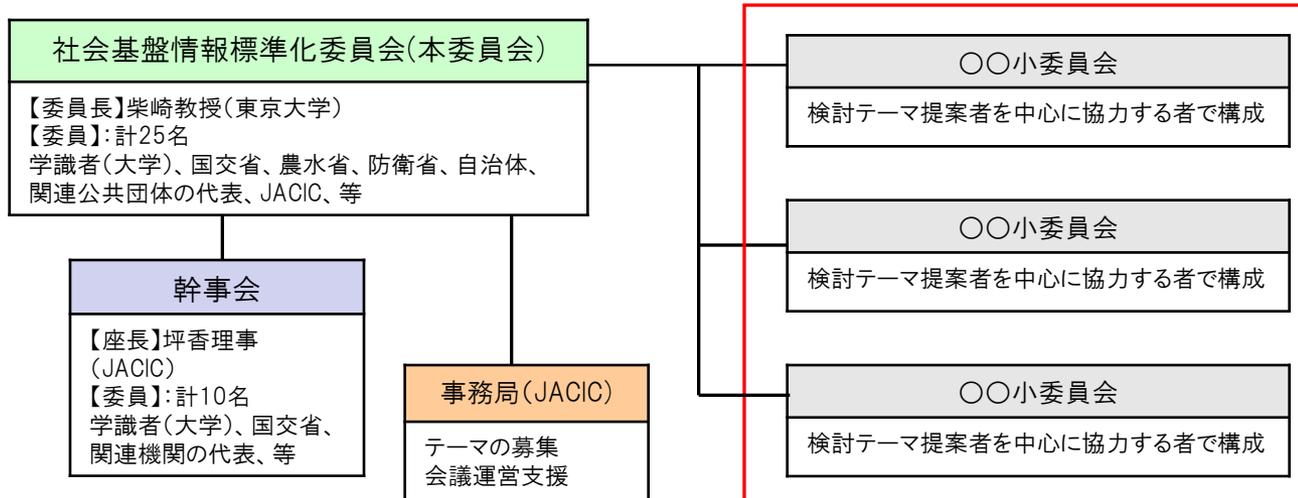
- A) 委員会発足の目的である「建設情報に係る標準化ビジョン」(＝「①円滑な電子データ流通基盤の構築、②統合的な電子データ利用環境の創出」)に従った検討テーマを公募より募る。
- B) 広範囲なテーマに機動的に対応した検討を行えるよう、長期の推進計画とせず、計画を定める。

	これまでの実施体系	2013年度からの実施体系（変更点）
推進計画	3カ年に渡った推進計画を策定 (主に電子納品とCAD図面に係る標準化)	毎年、検討するテーマを募集し、委員会においてテーマを選定し計画を策定
実施体制	[委員会－小委員会－ワーキンググループ]（3段構成）	[委員会－小委員会]（2段構成） 委員会が小委員会の活動を定期的に把握し、ワーキンググループは原則として設置しない。
小委員会設置方法	小委員会は推進計画の期間、継続的に設置され、小委員会委員長、ワーキンググループ座長は委員会委員を兼任してきた。	選定されたテーマに対して、毎年、提案者を中心とする小委員会を設置する。各小委員会ごとに検討を実施し、定期的に委員会に報告を行う。 小委員会の委員長等は委員会委員を兼務しない。

### 社会基盤情報標準化委員会の構成

社会基盤情報標準化委員会の構成について、次のとおり。

#### □ 2013年度からの組織体制



	役割・概要
本委員会	毎年、テーマを選定し、推進計画を策定する。 小委員会活動のレビュー(助言や指導)を行う。
幹事会	委員会全体の運営に関する事項の検討等を行う。(事前協議)
事務局	検討テーマの公募、会議の管理運営等の事務、委員委嘱、他
小委員会	毎年の選定されたテーマに応じて提案者を中心に設置する。 小委員長は、定期的に活動状況を委員会に報告する。

### 2013年度以降の社会基盤情報標準化委員会の進め方

#### ■ 標準化委員会における検討の流れ（2013年度以降）

- 
- ① 小委員会検討テーマの応募案内（事務局）  
（「標準化推進計画策定手順」および「小委員会活動に対する支援要綱」に従う。）
  - ② 委員会へ応募結果を報告（事務局）
  - ③ 小委員会の検討テーマを選定（委員会）
  - ④ 選定結果を、申請者に連絡（事務局）
  - ⑤ 小委員会の検討体制を形成（小委員長）
  - ⑥ 小委員会を設置・委員委嘱（事務局）
  - ⑦ 推進計画の策定（委員会）
  - ⑧ 小委員会活動を実施（小委員会）
  - ⑨ 委員会にて小委員会成果をレビュー（委員会）
    - ⇒ 小委員長は、委員会にて中間報告および成果報告を行う。
    - ⇒ 委員会は、小委員会の活動成果を審議する。

### 3. 2014年度 小委員会活動について

## 2014年度小委員会体制

2013、2014 年度に応募された検討テーマ・検討主体の中から、標準化委員会が毎年度審議を行って選定し、以下に示す6件の検討テーマ毎の小委員会体制で標準化活動が進められている。

社会基盤情報標準化委員会  
◎委員長: 柴崎 亮介(東京大学教授)

幹事会

事務局

ボーリング柱状図標準化小委員会  
◎小委員長: 福江 正治(東海大学)

CIMにおける情報共有技術と標準小委員会  
◎小委員長: 古屋 弘(大林組)

社会資本維持管理の電子化小委員会  
◎小委員長: 高木 方隆(高知工科大学)

社会基盤COBie検討小委員会  
◎小委員長: 藤澤 泰雄(八千代エンジニアリング)

地形を対象とした3次元製図基準検討小委員会  
◎小委員長: 窪田 諭(関西大学)

サステナブル電子納品検討小委員会  
◎小委員長: 関本 義秀(東京大学)

### 検討テーマ

信頼性・精度の高い地質地盤情報の流通と利活用促進のためのボーリング柱状図作成方法の標準化

### 目的

地質地盤情報に係る現行要領・基準類における(ア)基準間の不整合や、(イ)規定すべき項目の記載、(ウ)国際標準化への未対応の課題があり、データ納品側・利活用側双方で混乱を招いているため、これらの課題の解決を目的として、ボーリング柱状図作成要領(案)の改訂検討を行うものである。これにより、円滑な地質地盤情報データの流通基盤の構築と統合的な利用環境を創出していく。

### 実施体制

小委員長) 東海大学海洋学部教授 福江正治

委員) 行政:7名

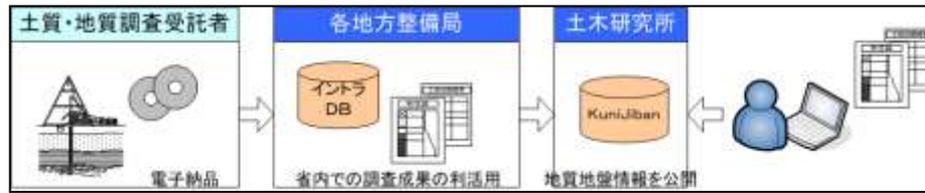
業界団体:3名

地方自治体:1名

(計12名)

(事務局:全地連)

## (1) 現状の地質地盤情報の納品から利活用までの流れ



- 国交省に電子納品された地質地盤情報は国土地盤情報検索サイト「kuniJiban」で一般公開されている

## (2) 対象とする地質地盤情報



観察・計測結果であるボーリング柱状図と土質試験結果 (kuniJibanよりダウンロード)



### 要領・基準類

#### 地質・土質調査成果電子納品要領(案)

- JIS A 0204
- JIS A 0205
- JIS A 0206

(地質図—工学地質図に用いる記号, 色, 模様, 用語及び地層・岩体区分の表示とコード群)

- ボーリング柱状図作成要領(案)  
昭和61年6月: 建設省土木研究所
- ボーリング柱状図作成要領(案)解説書  
平成11年5月: (財)日本建設情報総合センター
- 地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案)  
平成14年6月: (独)土木研究所
- 土質試験の方法と解説: (社)地盤工学会
- 地盤調査の方法と解説: (社)地盤工学会

## 活動計画

1	関連する規格(JIS規格、JGS基準等)との整合性確保	JIS A 0206ならびに、JGS0051-2009、等の基準を整理し、地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案)との整合性について整理する
2	電子納品を前提としたデジタルコア写真に係る記述の検討ならびにコア観察等に関する最新の知見の反映	コア写真の撮影・整理方法や、コア観察の方法等につき、最新の知見を整理し、規定する
3	柱状図様式、ボーリング交換用データ(XML)フォーマット等の英文化	地盤情報を始めとするデータのオープンデータ化と情報流通連携基盤共通APIの確立・国際標準化への対応ならびに、建設市場の国際化にあたってボーリング柱状図様式の海外への普及促進のために、新しい要領(案)の英文化を検討

## 達成目標

- ◆ ボーリング柱状図作成要領(案)及び関連要領を統合した新たな要領(案)の作成  
(⇒1年目:課題1~3の検討と新要領(案)解説書の原案作成)  
(⇒2年目:英文化も含めた新要領(案)解説書の完成)

## 検討テーマ

CIMにおける情報共有技術と標準

## 目的

国際標準が日本の土木(インフラ)における生産・維持管理のプロセスに上手く適合するよう標準案を開発し、buildingSMART のOpenINFRA 部会に対して提案する。

## 実施体制

小委員長) 古屋弘(大林組)

委員)行政:1名

学識:1名

業界団体:1名

コンサル会社:2名

ゼネコン:1名

ベンダー:5名

(計12名)

## 活動計画

1	インフラ系モデル開発計画の立案	buildingSMART のOpenINFRA 部会におけるインフラ系のモデル開発計画を立案
2	OpenINFRA 部会への提案	buildingSMART の日本支部として、OpenINFRA 部会に社会基盤におけるプロダクトモデルの国際標準化に対する日本案を提案

## 達成目標

- ◆ 社会基盤におけるプロダクトモデルの国際標準化に対する日本案の作成
- ◆ buildingSMARTのOpenINFRA部会への提案し、IFC、IDM、MVD等へ反映する
  - (⇒1年目:プロダクトモデル活用の合意形成、ライフサイクルマネジメントに必要なデータの抽出、IFC-Roadに対する日本案の提出)
  - (⇒2年目:国内提案プロダクトモデルのOpenINFRAへの適合検討、モデルの実装実験(IFC-Road)、buildingSMARTおよび国内(発注機関および関連機関)への成果の提出)

## 検討テーマ

地方自治体の社会資本維持管理と電子データベース運用の実践

## 目的

道路アセットマネジメントシステムが構築されている高知県を地方自治体のモデルケースとして、社会資本整備に関する情報の電子DB化やGIS 上での運用システムの構築など、先進事例としての電子情報に基づく維持管理システムの具体的な運用を実現する。

## 実施体制

小委員長)高木方隆 高知工科大学教授

委員)学識者:2名

地方自治体:1名

(計4名)

(連携)

高知県アセットマネジメント委員会  
橋梁分科会アドバイザー会議(高知)

- ・座長 那須 清吾高知工科大学教授
- ・委員 大内雅弘 高知工科大学教授 ほか
- ・(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 四国支部
- ・(社)日本橋梁建設協会 保全第二部会
- ・高知県土木部道路課

## 活動計画

1	既往システムにおける課題整理	高知県道路アセットマネジメントシステムの課題分析および維持管理情報の電子データベースの必要性を整理
2	電子成果物の在り方についての検討	電子納品、定期点検、維持修繕などの電子情報について体系化し、データベースを発展させるための在り方を検討
3	GISを用いた電子情報データベースに係るアプリケーションの検討	電子情報データベースの利活用に関わる在り方および、GIS上の整理方法を含めたアプリケーションの体系化
4	システム実証による課題整理	システムの実証より、マネジメントサイクルにおける具体的な課題を整理
5	地方自治体における展開検討	国の地方自治体が電子情報データベースおよびアプリケーションの体系化および実践を行う上での課題を整理

## 達成目標

- ◆ 地方自治体で実践出来る電子情報データベース(含む電子納品)及び維持管理システムを統合した道路アセットマネジメントシステムの構築と提案
- ◆ 高知県における実践を通じた成功事例の創造
- ◆ 地方自治体における道路アセットマネジメントシステムの課題抽出

#### 検討テーマ

CIMの進展に合わせて、最終的に利用される維持管理段階で3次元プロダクトモデルを利活用するための標準化の検討

#### 目的

国内の土木分野では、COBieはほとんど認知されていない上に、COBieの主体は建物であり、土木構造物への適用は考えられていない。CIMとして維持管理段階で効率的に拡張していくためには、COBieのような交換標準が必要である。そこで、openINFRAの進展に合わせながら、社会基盤のためのCOBieを検討する。

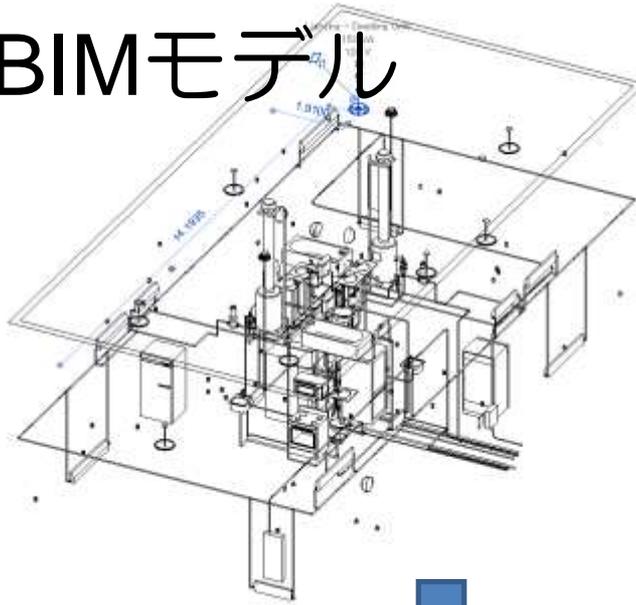
#### 実施体制

小委員長)藤澤 泰雄 (八千代エンジニアリング)

委員)学識者:1名  
公共発注機関:1名  
コンサル会社:3名  
ゼネコン:3名  
その他:3名

(計12名)

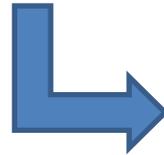
# BIMモデル



「IFC」をベースに開発されたデータ  
交換標準  
陸軍工兵隊（Army Corps of  
Engineers）や米国航空宇宙局  
（NASA）、GSAなどが開発・採用



# IFCファイル



# COBie出力

ID	Name	Description	Material/Manufacturer	Unit Count
301	12566 Light Source Definition (Family)	Point-Directional		1
302	26186 Light Source Definition (Family)	Point-Directional		1
303	12566 Light Source Symbolic Size			1
304	19911 Lightline - Downlight Unit Connected			1
305	19919 Lighting - Downlight Unit Connected Current			1
306	19919 Lighting - Downlight Unit Connected Factor			1
307	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand			1
308	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Current			1
309	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Factor			1
310	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage			1
311	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
312	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
313	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
314	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
315	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
316	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
317	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
318	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
319	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
320	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
321	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
322	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
323	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
324	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
325	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
326	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
327	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
328	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
329	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
330	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
331	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
332	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
333	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
334	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
335	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
336	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
337	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
338	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
339	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
340	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
341	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
342	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
343	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
344	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
345	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
346	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
347	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
348	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
349	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
350	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
351	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
352	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
353	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
354	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
355	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
356	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
357	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
358	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
359	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
360	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
361	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
362	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
363	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
364	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
365	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
366	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
367	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
368	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
369	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
370	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
371	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
372	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
373	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
374	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
375	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
376	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
377	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
378	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
379	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
380	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
381	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
382	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
383	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
384	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
385	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
386	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
387	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
388	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
389	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
390	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
391	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
392	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
393	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
394	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
395	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
396	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
397	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
398	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
399	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1
400	19919 Lighting - Downlight Unit Estimated Demand Voltage Factor			1

## 活動計画

1	IFC、COBieの現状のとりまとめ	
2	COBieに必要となる項目の抽出	
3	特定の土木構造物をターゲットとしたCOBie案の作成	
4	COBie案の実装検討	
5	COBieの概要周知	

## 達成目標

- ◆ COBieの考え方の周知案
- ◆ 土木構造物版COBieの策提案の作成・公表(1つの特定構造物に対して)

## 検討テーマ

地形を対象とした3次元製図基準検討

## 目的

3次元地形モデルの表記としての描き方とビューのガイドラインと位置づける「地形を対象とした3次元製図基準」を検討する。2013年度の成果である3次元製図の定義と地形を対象とした3次元製図基準の構成項目案を元に、「3次元地形描画ガイドライン(仮称)」の草案を作成する。

## 実施体制

小委員長)窪田 諭 関西大学 准教授

委員)学識:1名

行政:3名

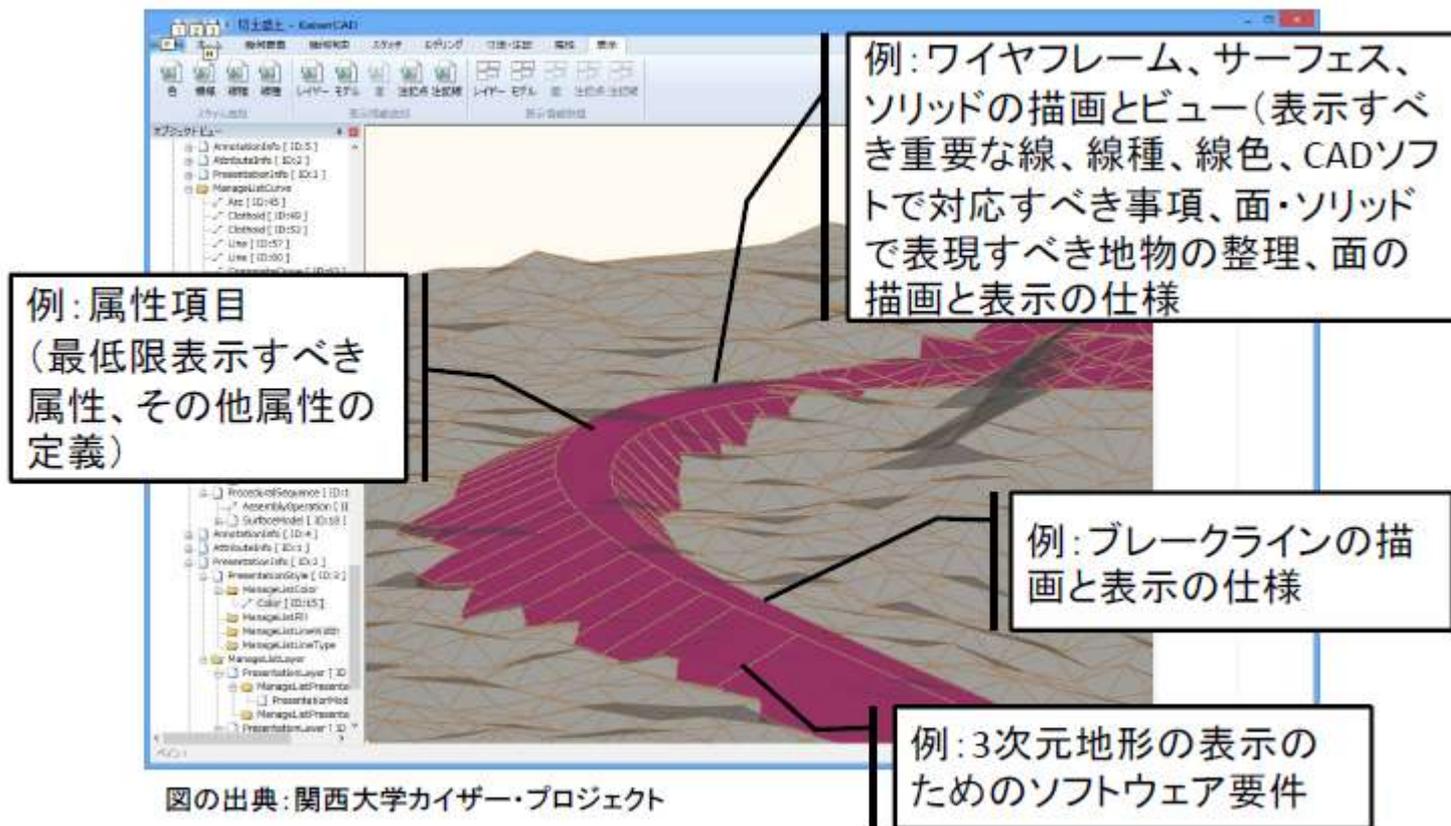
業界団体:1名

ベンダー:5名

地図会社:1名

(計12名)

# 検討イメージ



## 活動計画

1	3次元地形描画ガイドライン(仮称)の目次(案)の作成	2013年度の地形を対象とした3次元製図基準の構成項目(案)をもとに、「3次元地形描画ガイドライン(仮称)の目次(案)」を作成する。
2	3次元地形描画ガイドライン(仮称)の草案作成	3次元地形描画ガイドライン(仮称)の内容を検討し、その草案を作成する。 これにより、3次元地形の表示のための3次元CADブラウザのソフトウェア要件を明らかにできる。
3	3次元地形の描き方とビューの検討	3次元地形描画ガイドライン(仮称)の草案にもとづき、既存地物を含む地形を3次元CADソフトで作成し、地形の描き方を検証するとともに、ビューについて検討する。

## 達成目標

- ◆ 3次元地形描画ガイドライン(仮称)の目次(案)
- ◆ 3次元地形描画ガイドライン(仮称)の草案
- ◆ 3次元地形描画ガイドライン(仮称)にもとづき、CADソフトによって作成した地形の検証結果

## 検討テーマ

電子納品データのサステナブルな流通環境の整備・実証

## 目的

電子納品成果の保管に係るシステム整備やデータ入力等のコストを効果的に軽減させ、安定的な運用形式として注目されているクラウドプラットフォーム等を最大限に活用し低コストに運用できる実証研究を進めつつ、受注者側にもインセンティブが上がる仕組みを考えていく。

## 実施体制

小委員長) 関本 義秀 東京大学 生産技術研究所 教授

委員) 学識: 4名

業界団体: 1名

コンサル会社: 2名

(計7名)

## 活動計画

- ① 今年度の活動計画の検討・調整
- ② 各項目の原案報告、議論
- ③ 各項目の実装状況の報告、議論
- ④ 各項目の取りまとめ状況の報告、議論
- ⑤ 自治体との意見交換

## 達成目標

- ◆ TimeMapper(オープンデータを地図と年表で可視化するWebアプリケーション)を用いた簡易ビューワの在り方高知県における実践を通じた成功事例の創造
- ◆ オンライン型電子納品
- ◆ G空間プラットフォーム(官民が保有する地理空間情報を組み合わせて利活用するためのプラットフォーム)との連携

## 4. 今後の活動について

# 現状の課題と今後の活動について

## •現在の課題

検討テーマ・検討主体を公募し、その中から決定している形をとっているが、標準化委員会として取り組むべきテーマについて公募だけではカバーしきれないものがある可能性が論じられている。

## •想定される方向性

本稿では標準化委員会を取り巻く情勢や既存の小委員会の検討内容などを考慮して今後取り組んでいく可能性のある分野を挙げ、それぞれの分野毎に必要性が比較的高いと思われる検討テーマの例を整理した。

## •今後可能性のある主要分野

- 電子納品に係る要領・基準等
- CIM・3次元モデル
- 維持管理

ご清聴ありがとうございました